

課題名

カンキツにおける銅剤への固着性展着剤OT-20の加用による効果の助長

成果の要約

OT-20はコサイド水和剤とオキシンドー75水和剤の混合液に加用すると、かいよう病に対しては防除効果を助長しなかったが、黒点病に対しては著しく助長した。しかし、この固着剤の加用によって川野ナツカンの糖度はかなり低下した。

成績概

川野ナツカンについて無機、有機銅剤にスピンドロン油、OT-20を加用した場合のかいよう病と黒点病に対する防除効果と薬害の発注を調べた。

- (1) かいよう病に対しては、OT-20加用によるコサイド、オキシンドー75の効果助長は認められなかった。
- (2) 黒点病に対しては、OT-20の加用により、防除効果は助長された。しかし、スピンドロンを追加するとかえって防除効果が低下した。
- (3) OT-20はハダニによる被害を軽減した。
- (4) 薬斑はいずれの区にも認められなかった。
- (5) OT-20の加用によって果実の糖度が低下し、無散布区との間に有意な差が認められた。

第1表 試験区(春葉の防除, 4月14日, 5月8日)

区の番号	オキシンドー75	コサイド	クレフノン	OT-20	スピンドロン
	倍	倍	倍	倍	倍
1	750	2,000	200	500	-
2	1,000	2,000	200	500	-
3	1,000	2,000	200	-	-
4	1,000	2,000	200	-	200
5	-	-	-	-	-

要

第2表 試験区(果実の防除, 6月1日, 7月1日, 8月18日)

区の番号	オキシンド-75	コサイド	クレフノン	OT-20	スピンドロン
1	750倍	2000倍	200倍	500倍	-倍
2	750	2000	200	500	200
3	750	2000	200	-	-
4	750	2000	200	-	200
5	-	-	-	-	-

第3表 かいよう病に対する防除効果

区の番号	春葉(7月17日調査)			果実(12月18日調査)		
	総葉数	発病率	発病度	総葉数	発病率	発病度
		%			%	
1	1,161	2.3	0.38	195	4.1	1.90
2	1,141	1.5	0.21	206	1.0	0.14
3	1,073	3.4	0.48	201	1.0	0.14
4	1,075	4.8	0.69	205	5.4	2.02
5	1,135	10.7	1.62	202	13.4	6.15

第5表 春葉のハダニ被害度

区の番号	ハダニ被害度
1	23.3
2	20.0
3	54.3
4	19.7
5	52.9

第4表 黒点病に対する防除効果(10月29日調査) 第6表 果実の糖度に及ぼす影響

区の番号	総調査果数	発病率	発病度
		%	
1	193	2.6	0.5
2	209	14.8	4.2
3	214	17.8	4.1
4	184	10.3	2.6
5	234	22.2	5.1

区の番号	糖度
1	9.10 ± 0.47
2	9.19 ± 0.30
3	10.0 ± 0.12
4	9.34 ± 0.51
5	9.71 ± 0.34